



‘であい’のフォーラム & に出席 ～活動報告会&市民活動・行政事業提案会～

1月29日に開催された‘であい’のフォーラム & に出席しました。

この事業は、「だれもが、自分の個性を伸ばし、いきいきと創造的に生きようとする環境づくり」を目標に、松阪・紀勢地域の行政、地域住民、企業などが協働して活動を進めているもので、CTF松阪は「ITを活用した情報&コミュニケーションのバリアフリー」をテーマにこのフォーラムに参加して活動しております。

当日は、平成16年度事業の検証のための報告会と平成17年度新規提案の発表会として開催されたもので、地域づくりエディター田畑美穂氏ならびに三重大学人文学部教授朴恵淑氏の講演のほか、各団体の活動報告や新規提案、意見交換などが行われました。

講演の中で朴恵淑教授は、津市内で学生の若いエネルギーと発想が地元や市を刺激して、地域活性化への提案が実現されつつあると述べられました。CTFにも教授を含む学生のエネルギーを注入できればさらにパワーアップするかと感じました。

寸劇をとおしての報告や実際のカルタ体験をとおしての報告、ミニFM局による町づくり構想などユ



ニークで元気な発表が多数ありました。

CTF松阪の平成16年度事業については、予定どおり進捗し所期の目的を達成していること、また、平成17年度も継続実施することを報告しました。(残念?ながら当日の発表はなく、書類提出のみでした。ホッ……。)

最後の講評でまちづくりの活動はひとりが1歩踏み出すことが大切で、1+1=2だけではなく、みんなのその1歩が100歩にも1万歩にも膨らんでいくという言葉が印象的でした。

(小林、野村、春多 記)

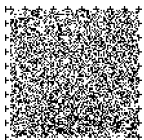


少し前になりますが、第三北品川病院院長築山先生の『若年性健忘症』についての記事を読みました。内容は、若い人の物忘れが増えている、その原因はITだと。

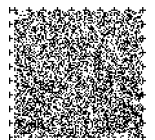
パソコンやインターネットばかりやっていると、文字を書かないから文字を忘れるし、家に閉じこもりがちにもなるので、駅で切符の買い方が分からなくなったりする。会う人が少なくなることによって言葉を使う機会が減り、記憶力が低下するとのこと。

脳を鍛えるには、言葉を使った入力と出力が重要で、入力とは、聞いたり読んだり見たりすること、出力とは書いたり話したりすることだそうです。

加齢に伴うごく自然な健忘症の私ですが、優秀な脳をお持ちの皆様方と接することにより、その症状の進行を少しでも遅らせたいと思います。(H.O)



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



ポートスキャン (2)

サーバーはこのやりとりを経て、文字列を処理する為のプログラムを動作させたり、文字列を格納するバッファを確保したりします。つまりこれにより実際にデータを送受信する為の準備が整ったという事になるので、「呼が確立された」と言う事になります。

以上の一連のやり取りをまとめると

1. クライアントからサーバーへ準備の確認 (SYN)
2. サーバーからクライアントへ応答 & クライアントの準備の確認 (ACK / SYN)
3. クライアントからサーバーへ応答 (ACK)

と、3回データのやり取りが行なわれていますので、これを「スリーウェイハンドシェイク」(3 way handshake)と呼びます。

この「スリーウェイハンドシェイク」はメールを送る時にも、受信する時にも、FTPでファイル転送をする時にも行なわれています。

それでは1台のサーバーで複数のサービスが稼動していたらどうなるのでしょうか？(例えば、1台のサーバー上でメールサービスとWEBサービスが稼動している場合)

物理的なデータの入り口は1つしかありませんから誰かがこのデータをどちらのサービスに渡すかを判断しなければなりません。この判断はOS(オペレーティングシステム)が行っています。その際の判断材料として「ポートNo」というものが使われ

ます。「ポートNo」はクライアントパソコンがWEBサービスの要求を出す時にデータの中に設定しています。(WEBサービスの場合 PortNo 80)

もしここで、WEBサービスが正常に稼動していれば問題ありませんが、稼動していなかったらどうなるのでしょうか？

OSによりデータが一旦受け取られ、OSはポートNoが80であることを認識するのですが、それに対応するサービスが稼動していない為、「このサービスは動いていませんよ」という意味の「RST」(リセット)というデータを返します。クライアントパソコンはサーバーから「RST」が返ってきたので、「このサービスは稼動していないのだな」と判断します。つまり、サービスが稼動していないポートに対してSYNデータを送出しても「スリーウェイハンドシェイク」に失敗するわけです。逆に言うと、「スリーウェイハンドシェイク」が成功した場合はそのサービスが稼動していると判断できるわけです。

=== 文責：岩崎 ===
(つづく)

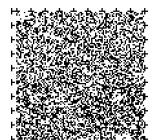
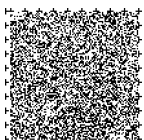


(財)三重こどもわかもの育成財団で講師・指導者を募集

次代の三重県を担う、自主的で思いやりがあり社会に貢献できる児童・青少年の育成のために、地域・またはみえこどもの城において活躍していただける講師・指導者を募集しております。

詳しくは下記までお問合せください。

財団法人三重こどもわかもの育成財団
担当・マネジメントグループ(岡田)
〒515-0054 松阪市立野町1291
☎0598-23-7735(代)
e-MAIL: office@mie-cc.or.jp



第11回理事会開催



1月8日(土)松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、理事7名が出席し、第11回理事会を開催しました。

内容は次のとおりです

- 1.最近の活動状況の報告
- 2.今後の活動計画その他の審議(以下の事項をそれぞれ決定しました)
障害者対象個人向けパソコン講座(定例)の開催について
‘であい’のフォーラム3&1参加について

活動報告

活動予定

【1月】

- 第11回理事会 (8日)
‘であい’のフォーラム3&1 (29日)
障害者対象個人向けパソコン講座 (11日、18日、25日)



【2月】

- 第12回理事会
26日 13:30~16:00
松阪市障害者福祉センターにて
- ボランティア活動資金助成事業
申請団体プレゼンテーション
9日 15:30~15:45
津市三重県社会福祉会館にて
- 障害者対象個人向けパソコン講座
1日、8日、22日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて
(15日は会場の都合により休講させていただきます)

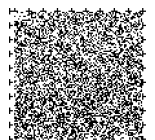
立春・雨水

2月4日は立春、18日は雨水です。

これらは二十四節気の名前で、立春は、「この日から春が始まる」と言われ、日本の旧暦では一年の始まりとされていました。

雨水は、「寒さが和らぎ雪が雨に変わる」と言われています。

なかなか暦どおりにはいきませんが、寒さの辛抱もあと少し、がんばりましょう。



今月は、CTF 松阪の大御所である岩崎理様、昨年未からの風邪がもとで正月早々入院をされました。このほどめでたく退院されましたので、“闘病記”をお願いしました。（CTFの編集部はゆっくり休ませてくれない・・・??）

地獄からの帰還(1)

Windows アプリケーションじゃあるまいし「風邪」「肺炎」「入院」「終了」なんてことにならないことを祈りつつ緊急入院した。娑婆はまだ正月気分だというのに・・・

即中央処置室で点滴を付けられ7階へ、病室は4人部屋で窓際の一番いい場所に配置してくれる。1時間ほどしてもう1人運ばれてきて満室となる。

右手には点滴、鼻には酸素マスク、横になると咳き込んで苦しいので座った状態でベッドを立てて寄りかかっていなければならない。腰は痛いし、尻も痛い。身動きもできない。まるで地獄の拷問である。

お尻が痛いと言えとクッションの柔らかいベッドを探してきて入れ替えてくれる。少し楽になったような気分。

それも束の間、尿意を催してきた。5メートルほど先にトイレはあるのだが、そこまで歩いていけない。意を決してボタンを押す。かわいらしいナースが飛んできてくれる。恐る恐る「おしっこがしたいんだけど」と言うと心得たもので尿瓶を持ってきて、哀れな息子をひょいとはつまみ出して瓶に突っ込んで「はい、いいですよ」ときた。

こちとらにだって生まれてこの方二足歩行を始めて60有余年のスタイルがある。「はい、いいですよ」といわれたってそう簡単に出るものではない。力めば力むほど出ない。ここはひとまず白衣の天使にご退室願って、エイままよなるようになれ、ケセラセラである。スーツと楽になる。

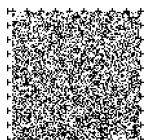
(つづく) (0.1)

次号も皆様どうぞお楽しみに・・・



編集部から

皆さん、風邪に気をつけましょうね。



CTF 通信第23号

2005年(平成17年)2月発行

発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081 松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

